

人のめくもりとふれあいが奏でる躍動のまち 丹波高原文化の郷 ●京丹波

No.101

2014年3月17日発行

3月号

広報 | 京丹波



笑顔あふれるお雛さま
子どもの成長を願う



不法投棄されたごみを回収する職員(町内)

平成二十四年度に町で対応した不法投棄の件数は四十件。ここ数年ほとんど同じ状況です。町では、不法投棄の連絡が入ると、住民課や支所の職員が現地を確認。ごみの状況を調べ、警察への通報や回収などの対応を行っています。

「人目につきにくい道路脇に投棄されることが多く、生ごみからテレビなどの家電、ときには建築廃材まで種類はさまざまです。ごみの収集場所にルール違反のごみが捨てられていることもあります。町の対応はほんの一部で、このようなごみが片付いているのは、地域の役員さんを中心



投棄されたごみ(町内)

「資源」という言葉には、今回紹介しましたごみのほかにも、最近注目される「再生可能エネルギー」と呼ばれるものなど、数多くあります。

しかし、限りある資源を大事にするという行為は、日本人なら誰もが知っている「もったいない」にもつながるのではないのでしょうか。

今回は、分別収集を中心にごみの再資源化につ

資源を大切にすまち 京丹波へ

とした清掃活動などの取り組みのおかげです」と、担当する並河直樹主査(町住民課)は、不法投棄の現状を話します。

ごみのない「美しく住みよいまち」を守るため、地域の清掃活動など、皆さんのご協力をお願いします。

収集の取り組みに水を差す 行為、後を絶たず

皆さんの力でごみの分別収集と再資源化が進む一方、町内ではこの取り組みに水を差す、心ない行為も後を絶ちません。一般に「不法投棄」と呼ばれるものです。

平成二十四年度に町で対応した不法投棄の件数は四十件。ここ数年ほとんど同じ状況です。町では、不法投棄の連絡が入ると、住民課や支所の職員が現地を確認。ごみの状況を調べ、警察への通報や回収などの対応を行っています。

町民の協力も 大きな力に

収集業務に大きな力となっているのが、町民の皆さんに協力いただいている「環境推進委員」です。

町では、生活環境の改善と快適な環境づくりに地域と連携して取り組んでいくことを目的に、毎年町内各集落一人の方を環境推進委員に選任しています。

分別収集と適正な 排出でごみ削減を



収集業務について話す小寺事業1係長(船井郡衛生管理組合・南丹市)



可燃ごみを収集する組合職員(蒲生)



分別について記載した冊子を広げ話す山下さん(井脇)



協力して行われる収集(井脇)

では、収集に携わる人たちはどのように考え、業務に従事しているのでしょうか。

取材当日、可燃ごみの収集を行ってきた衛生管理組合の小寺博事業一係長もその一人です。

小寺係長は、最近は分別収集の考え方が浸透し、混ざるとは減っているとしながら、収集している上で気になる点として、ごみを出す時間を挙げます。同組合では、現在、ごみの排出については当日の午前八時三十分までに排出していただくようお願いしています。しかし、「限られた一部ですが、収集後すぐにも出されている所があります。夏場などは、次の収集日まで数日置くと、どうしても水分が増えてしまいますので、きまりを守って出してくださいませようお願いします」と適正な排出に向けた思いを話し、また、排出場所などについては「高齢化が進み、今

まで出しに行くことができた場所に行けなくなる場合もあります。収集時間に限りがある中で、現在設置している収集場所の移動など、できるだけ希望に添える範囲で対応していきたいです」と、収集地域全体の場所を調整しながら、ごみを出しやすい環境づくりを進める思いを話していました。

委員となられた方は、ごみの適正排出に向けた指導、環境美化意識の啓発活動などにご尽力いただいています。

委員の一人、井脇地区の山下立男さんは、ピニールごみやびんなどの排出日に夏場は午前六時半から、冬場は午前七時から収集場所です立ち会っています。山下さんは、分別はおおむねいただいていると感じているようですが、「まだまだ、早朝などに通りがかりに出て行く人などが、分別せずに出して行くこともあるので困っています」と、収集する上での課題などを話します。

また、委員が立ち会うことについても、「農業をしていると、これから夏場に向けて朝の時間帯は貴重な時間。しかし、きっちり立ち会うことで、区民の皆さんにも意識づけができるので、そういう意味でも大事なことだと思っています」と、委員としてこの二年間立ち会ってきたことの意義を話していました。

ご活用くださいリサイクルカレンダー

京丹波町では、毎年、ごみの分別収集の日程を掲載した「リサイクルカレンダー」を作成しています。

カレンダーには、分類別の収集日のほか、排出用のごみ袋の販売店も掲載しています。

カレンダーを活用し、ごみの分別収集にご協力をよろしくをお願いします。



平成26年度版のリサイクルカレンダー



不法投棄されたごみを回収する職員(町内)

平成二十四年度に町で対応した不法投棄の件数は四十件。ここ数年ほとんど同じ状況です。町では、不法投棄の連絡が入ると、住民課や支所の職員が現地を確認。ごみの状況を調べ、警察への通報や回収などの対応を行っています。

「人目につきにくい道路脇に投棄されることが多く、生ごみからテレビなどの家電、ときには建築廃材まで種類はさまざまです。ごみの収集場所にルール違反のごみが捨てられていることもあります。町の対応はほんの一部で、このようなごみが片付いているのは、地域の役員さんを中心



投棄されたごみ(町内)

「資源」という言葉には、今回紹介しましたごみのほかにも、最近注目される「再生可能エネルギー」と呼ばれるものなど、数多くあります。

しかし、限りある資源を大事にするという行為は、日本人なら誰もが知っている「もったいない」にもつながるのではないのでしょうか。

今回は、分別収集を中心にごみの再資源化につ

資源を大切にすまち 京丹波へ

とした清掃活動などの取り組みのおかげです」と、担当する並河直樹主査(町住民課)は、不法投棄の現状を話します。

ごみのない「美しく住みよいまち」を守るため、地域の清掃活動など、皆さんのご協力をお願いします。

収集の取り組みに水を差す 行為、後を絶たず

皆さんの力でごみの分別収集と再資源化が進む一方、町内ではこの取り組みに水を差す、心ない行為も後を絶ちません。一般に「不法投棄」と呼ばれるものです。

分別収集と適正な 排出でごみ削減を

では、収集に携わる人たちはどのように考え、業務に従事しているのでしょうか。

取材当日、可燃ごみの収集を行ってきた衛生管理組合の小寺博(こやまひろ)事業一係長もその一人です。

小寺係長は、最近は分別収集の考え方が浸透し、混ざるとは減っているとしながら、収集している上で気になる点として、ごみを出す時間を挙げます。同組合では、現在、ごみの排出については当日の午前八時三十分までに出していただくようお願いしています。しかし、「限られた一部ですが、収集後すぐにも出されている所があります。夏場などは、次の収集日まで数日置くと、どうしても水分が増えてしまいますので、きまりを守って出してくださいませようお願いします」と適正な排出に向けた思いを話し、また、排出場所などについては「高齢化が進み、今



収集業務について話す小寺事業一係長(船井郡衛生管理組合・南丹市)



可燃ごみを収集する組合職員(蒲生)



分別について記載した冊子を広げ話す山下さん(井脇)



協力して行われる収集(井脇)

まで出しに行くことができた場所に行けなくなる場合もあります。収集時間に限りがある中で、現在設置している収集場所の移動など、できるだけ希望に添える範囲で対応していきたいです」と、収集地域全体の場所を調整しながら、ごみを出しやすいう環境づくりを進める思いを話していました。

町民の協力も 大きな力に

収集業務に大きな力となっているのが、町民の皆さんに協力いただいている「環境推進委員」です。

町では、生活環境の改善と快適な環境づくりに地域と連携して取り組んでいくことを目的に、毎年町内各集落一人の方を環境推進委員に選任しています。

委員となられた方は、ごみの適正排出に向けた指導、環境美化意識の啓発活動などにご尽力いただいています。

委員の一人、井脇地区の山下立男(したなかたけお)さんは、ピニールごみやびんなどの排出日に夏場は午前六時半から、冬場は午前七時から収集場所まで立ち会っています。山下さんは、分別はおおむねしていただいていると感じているようですが、「まだまだ、早朝などに通りがかりに出して行く人などが、分別せずに出して行くこともあるので困っています」と、収集する上での課題などを話します。

また、委員が立ち会うことについても、「農業をしていると、これから夏場に向けて朝の時間帯は貴重な時間。しかし、きっちり立ち会うことで、区民の皆さんにも意識づけができるので、そういう意味でも大事なことだと思っています」と、委員としてこの二年間立ち会ってきたことの意義を話していました。

ご活用くださいリサイクルカレンダー

京丹波町では、毎年、ごみの分別収集の日程を掲載した「リサイクルカレンダー」を作成しています。

カレンダーには、分類別の収集日のほか、排出用のごみ袋の販売店も掲載しています。カレンダーを活用し、ごみの分別収集にご協力をよろしくをお願いします。



平成26年度版のリサイクルカレンダー

いきいき健康術 第79回

『フッ素を使った虫歯予防』

現在は、フッ素入りの磨き粉やタブレットなどの商品も多く出ています。また、歯科医院で小児にフッ素塗布を行ったり、学校歯科医による保育園(所)小中学校などで集団的にフッ化物洗口を取り入れたりとフッ素の利用で虫歯減少の効果が大きいと望まれてい

- ① **フロオロapatite(耐酸性物質)の生成**
フッ素が歯の表面に直接作用して、虫歯菌の出す酸に対して溶けにくくする効果をあたえます。
- ② **結晶性の向上**
エナメル質の結晶を強化し、歯を丈夫にします。
- ③ **再石灰化**
唾液に含まれるイオンと結合して歯に沈着し、初期の虫歯の再石灰化を促進します。

まず、フッ素とは、ミネラルの一種で、海藻などの食品にも含まれる成分です。歯には次のような働きをします。

① **フロオロapatite(耐酸性物質)の生成**
フッ素が歯の表面に直接作用して、虫歯菌の出す酸に対して溶けにくくする効果をあたえます。

② **結晶性の向上**
エナメル質の結晶を強化し、歯を丈夫にします。

③ **再石灰化**
唾液に含まれるイオンと結合して歯に沈着し、初期の虫歯の再石灰化を促進します。

このコーナーは、町立病院診療所の医師や専門職員が皆さんにお届けする健康情報コーナーです。今回の担当は、国保京丹波病院和知歯科診療所の舟木健先生。虫歯予防に効果的といわれるフッ素による虫歯予防に関するお話です。



歯科 医師 舟木 健 先生 (和知歯科診療所)

このように、フッ素は歯にさまざまな効果をもたらすところ。日常でも多く取り扱われています。ただし、市販商品以外のフッ素の塗布や洗口は、適正な濃度が決められている為、市販商品以外の使用は、歯科医師の指示が必要です。興味がある方は、歯科医師に相談してください。

和知歯科診療所情報

和知歯科診療所は、平成二十五年十月二十一日より旧和知保健センター二階から二階へ移転改修を行いました。皆さまが診療所に行きやすい明るい歯科診療所に生まれ変わりましたので、ご利用をお待ちしております。

☎ 84-1154

京丹波町 × 下川町 キャンドルを通して 地域交流

質美地域振興会が
しもかわアイスクャンدلフェスティバルに参加

平成25年3月に本町と友好交流協定を締結し、職員の人事交流などを行う北海道下川町。同町の冬の一大イベント「しもかわアイスクャンدلフェスティバル」に、本町の島中源一副町長と職員四人のほか、使用済みてんぷら油(廃油)を使用したろうソクを地域おこしに活用する質美地域振興会のメンバー3人が参加しました。厳寒の地でしか行えないイベントで交流を深めました。厳寒の地で行われたイベントでの交流についてお伝えします。



アイスクャンدلとともに並ぶ廃油ろうソク

■エゴを通じて交流

フェスティバルでは、質美地域振興会のメンバーが、訪問前に準備した廃油ろうソクが、同じく準備した竹を使って飾られました。

振興会のメンバーとして参加した大西好美さん(質美)は「ろうソクにも興味は持ってもらえたけど、下川町にはない太い竹にも興味があったみたいです」と笑いながら、現地での様子を話していました。

大西さんらは、フェスティバルにおいて、ろうソクづくりを体験してもらおうブースを出店。「これまで食べ物の販売が中心でモノづくりの出店はほとんどなかったようですが、子どもたちを中心に喜んで参加してくれまし



アイスクャンدلが並べられた会場

■地域づくりのきっかけに

今回の下川町訪問を通じ、振興会のメンバーからは「イベントなどでもごみの分別が徹底され、意識の高さを感じた」、「ろうソク作りから竹切りまで、すごく興味を持ってもらえてよかった。みんながまちづくりに向け同じ方向を向いてがんばっている感じをうけました」、「森林を六十年の周期で管理し、葉から根元まで活用する考え方に「究極のエゴ」だと感じました。(今回の訪問を)振興会の活動にも生かしていきたいです」など、それぞれが今回の訪問で得たことを語っていました。



廃油ろうソクの容器に絵を描く親子。写真右は大西さん

アイスクャンدلとは… マイナス20度以上の日もある北海道で、バケツに水を張って夜間に凍らせる。出来上がった氷を、穴を上向きに置いて中にろうソクを置くもの。

京丹波町の組織の一部を改編します

京丹波町では、町民の皆さんが、より幸せを感じていただけるまちづくりを進めるため、4月1日から町の組織の一部を改編します。今回の改編は、町の活性化に必要な商工業や観光業の振興を図る「商工観光課」の設置など、「安心」と「活力」にもとづく「愛」のあるまちづくりを目指す体制づくりを基本としています。



商工業および観光振興を推進する「商工観光課」を設置します

畑川ダムや平成26年度に全線開通予定の京都縦貫自動車道などの地域資源を活用した企業誘致の推進や、地元企業の活性化を目指して、新たに「商工観光課」を設置します。「産業振興課」は「農林振興課」に名称を変更し、農林業などの振興を進めます。

森林資源の循環活用を推進する「地域資源活用推進室」を設置します

友好交流協定を締結する北海道下川町の循環型森林経営を本町に取り入れ、まきストーブなどの木を使う暮らしの推進をはじめとした木質バイオマス産業の育成など、新たな資源循環の仕組みづくりを進めます。

防災体制を強化するため「危機管理室」を設置します

総務課の「消防防災係」を「危機管理室」に改め、消防団に配備する車両の更新や原子力災害対策のほか、各種防災訓練などに取り組みます。



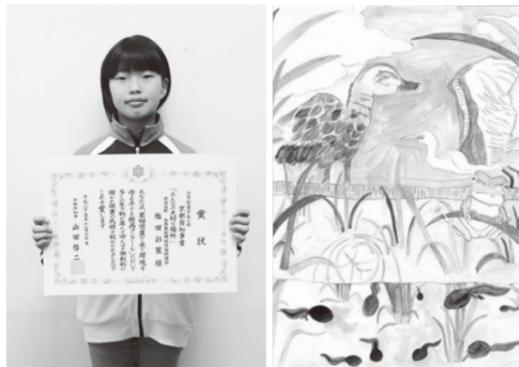
生き物のより所を描く

■農と水と環境を守る子ども絵画コンクール

京都府内の小学生以下を対象に実施された第四回農と水と環境を守る子ども絵画コンクールにおいて、塩田彩葉さんが、小学生高学年の部で京都府知事賞を受賞しました。

このコンクールは、子どもたちに農地と水、環境を守る活動を理解してもらうことと、広く活動を

周知するために、京都府農地・水・環境保全向上対策協議会が実施しているもの。京都府内から二百二十八作品の応募がありました。「自然が好きで大切にしたい」という思いを込め、水の中にもいろいろな動物がすんでいること描きました」と説明し、「次はほかの動物も描いてみたいです」と、次の作品への思いを話していました。



受賞した塩田さん(左)と受賞作品(水原)

最新消防車両六台を配備

■消防車両配属式

このたび町消防団が、火災時などに使用する消防車両六台を更新。二月一日、役場議場にて配属式を行いました。

配属式では、寺尾豊爾町長が町消防団の梅原好範団長へ新車両の配属書を交付後、団長各部の部長に、配属書と車両の鍵が伝達されました。

配属式終了後には、納入業者から団員に対し車両および積載している小型動力ポンプの説明が行われ、団員らは、真剣に説明を聞いていました。

受章おめでとうございます

■瑞宝双光章受章

町内外で長年教職員として勤務し、今年度八十八歳を迎えられた出野賢さん(本庄)がこのほど、瑞宝双光章を受章。二月二十一日、朝子照夫教育長と京都府南丹教育局の植野聡総務課長が自宅を訪問し、勲章などを伝達しました。

出野さんは、六十歳で退職するまで、町内外の小・中学校に勤務。最後の勤務地となった質美小学

校(平成二十三年三月に閉校)では、児童数が少ない学校だからこそできることをしようという思いで、子どもたちの教育に尽力しました。

伝達を受けた出野さんは「皆さんにお世話になったおかげでやっけることができました。これからは、なんとか地域にお返しできればと思っています」と、受章した感想を述べていました。



叙勲の伝達を受けた出野さん(写真中央)(本庄)



説明を受けながら、新車両を確認する団員(京丹波町役場・蒲生)

支援活動が評価され受賞

■ゆめづくりまちづくり賞

近畿地方でさまざまななかたちでまちづくりや地域づくりに取り組む団体などを表彰する第6回ゆめづくりまちづくり賞をこのほど、双葉町への支援活動に取り組む京丹波町スポーツ少年団が受賞。二月二十二日、丹波自然運動公園で表彰式が行われました。

ジャガイモを栽培し直接届けた支援活動が、町内への支援の輪の拡大につながったことを評価されたことによるものです。

表彰式では、団を代表し、三人の団員が、同賞を行う快適都市実行委員会の事務局である近畿地方整備局の小山下秀文環境調整官から記念品などを受け取りました。

記念樹を受け取った溝口翔也さんは「ジャガイモを送ることで、少しでも双葉町の方を支援する活動ができてよかったです」と、受



賞のきっかけになった支援活動の成果を喜んでいました。

記念品を受け取る団員(丹波自然運動公園・曾根)

地域で活動する団体などが参加

■京都丹波地域交流フェスティバル

京都丹波地域で活動するNPO、企業、行政などが集まり交流を深める京都丹波地域交流フェスティバルが、二月二日、亀岡市のガレリアかめおかコンベンションホールで開催されました。

今回のイベントには、本町からは三グループが参加。そのうち、cafeモカ(富田)は、昨年の京丹波●食の祭典二〇一三で屋台

グランプリに輝いた「丹波を牛う」と煮込んだロコモコ丼を販売。来場者は、地元食材を使ったメニューを買い求めています。

このほか、会場では、企業やNPOの活動紹介ブース、木のおもちゃづくりなどの体験教室、ステージ発表なども行われ、参加者や来場者は、地域で取り組まれているさまざまな活動にふれていました。



グランプリ作品を買い求める来場者(ガレリアかめおか・亀岡市)

文化遺産を守るために訓練

■文化財防火訓練

国指定文化財である大福光寺本堂周辺で二月二十六日、町消防団などによる文化財防火訓練が行われました。

この訓練は、文化財防火デーに合わせて行われたもので、下山地区を守る町消防団丹波支団第七分団のほか、園部消防署丹波出張所、地元蔵区住民による自警団が参加。同寺本堂から出火したとの想定で、通報から、初期消火、重要物品の搬出、放水訓

練などを行いました。

参加者は、地元に残る文化遺産の万一を想定し、真剣に訓練に取り組みました。

今回、訓練を行った文化財防火デーは、昭和二十四年一月二十六日に、現存する世界最古の木造建築物である法隆寺(奈良県)の金堂が炎上。壁画を焼失したことを契機に、国民の文化財愛護に関する意識の高揚を図ることを目的に、全国的に活動をしているものです。



放水訓練を行う消防団員(大福光寺・下山)

熱い思いを込め演奏

■バレンタインコンサート

「なみすい」こと、京丹波吹奏楽団の第十七回定期演奏会「バレンタインコンサート」が二月九日、町中央公民館で開催。町内外から約七十人が来場しました。

コンサートでは、昨年のコンサート後に新たに加入した二人を含めた六人の団員らが、日ごろの練習成果を発揮して、ジャズ

やテレビ番組のテーマ曲など六曲を演奏しました。

演奏後には、会場を訪れた人たちからは、アンコールの大きな拍手が起こり、団員とコンサートにゲスト出演した神戸市を中心にアコーディオンやピアノの奏者として活動する米村博実さんが、東日本大震災復興支援ソング「花は咲く」を演奏。来場した人たちと一緒に歌いました。



花は咲くを演奏する団員と米村さん(町中央公民館・蒲生)

消防団活動を評価され受章

■京都府消防大会

京都府内の消防団員および消防職員などの士気高揚と防災活動の充実発展を目的に、第二十八回京都府消防大会が二月九日、国立京都国際会館(京都市左京区)で開催され、本町消防団の団員二十四人も参加しました。

大会では、長年消防団活動に尽力してきた団員の表彰が行われ、本町消防団からも十一人が受章しました。

また、平成二十五年が、消防団の前身となる消防組を設置する消防組規則制定から百二十年ならびに自治体消防発足六十五周年となることから、これを記念した表彰も行われ、本町消防団も受章しました。

- なお、表彰を受賞した団員は次の皆さんです。(敬称略)
- 京都府知事定例表彰
功労章/栗林英治(副団長)
永年勤続功労章/
隅田光郎(支団長)
精励章/山下 肇(副分団長)
▼片山 健(同)▼川合芳章(同)
▼岡本高幸(同)▼森本和広(同)
▼小松聖人(同)▼村山幸則(同)
▼岡野 誠(同)▼今西和寿(同)



大会で授与されたのぼり旗(京丹波町役場・蒲生)

人の動き

(敬称略)

■戦没者遺族相談員(任期二年)

前田正(八田)

*厚生労働大臣からの業務委託を受け、戦没者遺族への相談対応と、援護のために必要な指導を行う。

義援金などの受付状況

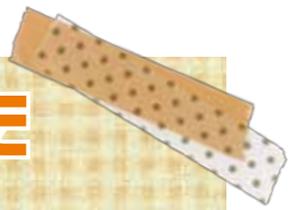
東日本大震災への支援として取り組んでいる「義援金」と、友好町・福島県双葉町への「復興支援募金」の受付状況をお知らせします。

受付金額	
義援金	9,094,666円
復興支援募金	5,870,683円

*平成26年2月28日現在

わたしたちの町

人口	15,866(-51)
男	7,478(-28)
女	8,388(-23)
世帯数	6,464(-11)
3月1日現在/()は前月比	



季節の食材を使った お手軽料理レシピ

[シリーズ] 第20回
食卓の一品に
どうぞ!!

このコーナーでは、「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに掲げ、食生活を通じた健康づくりに取り組んでいる食生活改善推進員協議会の皆さんに、季節の食材を使って簡単に調理できる料理を紹介していただきます。

今回は春先に出回る野菜の中でも栄養価の高い菜の花を使った「菜の花のトントン巻き」。菜の花のような苦味のある野菜は免疫力を高め、風邪やガン予防にも効果があるビタミン類も多く含まれています。更に豚肉などの油脂と一緒に摂るとカロテンの吸収率が高まります。美味しく食べて春の香りを堪能してください。

今回の料理

「菜の花のトントン巻き」

1日に必要な野菜の量は300~350g。
このメニューでは80gの野菜が取れます。

【材料(4人分)】

- ◆菜の花 ……240g <付け合せ>
- ◆豚肉薄切り(バラ) ……240g ◆人参 ……80g
- ◆塩 ……小さじ1/2 ◆マーガリン ……小さじ2
- ◆コショウ ……少々 ◆砂糖 ……小さじ1

■作り方

- ①菜の花は、洗って熱湯で30秒ほど茹でてから、10cmの長さに切りそろえる。
- ②豚肉を1枚ずつ広げて塩とコショウを軽く振り、①の菜の花を置いて、巻く。
- ③フライパンを熱し、②の巻き終わりを下にして焼き目を付けた後、少しずつ転がしながら全体に火を通し色よく焼く。
- ④付け合せの人参は、食べやすい大きさに切り茹でる。フライパンにマーガリンと砂糖を溶かし、茹でた人参を加えて味をからませる。
- ⑤焼けた③を皿に盛り、④を付け合わせる。

■栄養価(1人分)

エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	食物繊維	塩分
277kcal	11.2g	22.6g	104mg	3.0g	0.8g

<次回は6月号に掲載する予定です>



POINT!

- 菜の花は、茹ですぎると苦味、香り、食感も損なわれるので茹ですぎないこと。
 - 豚バラ肉を使用するので、油は使用しません。
- ※付け合せに野菜をたくさん添えてみましょう。

今年の冬は、関東地方などで大雪による孤立などが話題になりました。幸い本町では、大きな被害がでるような降雪もなく、穏やかな冬を過ごすことができたのではないのでしょうか。

これから暖かい季節を迎え、体を動かすのにより季節となります。編集子も冬場になまった体を少しずつほぐし、広報担当となって3度目の春を迎えたいと思っています。(T)

編集後記

京丹波町のシンボル

【町の鳥】
うぐいす



【町の木】
イチヨウ



【町の花】
つつじ

